

施策番号 2-2-2	施策名 地域資源を活用した観光の振興	基本目標	豊かな自然を生かした活力ある農業のまちづくり			
		政策名	農業と連携した活力ある商工観光の振興			
	主管課	商工観光課	課長名	佐藤三舟	内線	411
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
観光スポットの認知度向上を図るとともに、地域資源である「農業」や「食」「景観」などを活かした観光振興をすすめます。		町外観光客 観光資源(観光スポット)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした観光が図られる ・観光スポットが認知される ・観光による経済効果の拡大が図られる 					<ul style="list-style-type: none"> ・芽室町が道内・国内・海外に発信される ・交流人口の増で消費の拡大につながる 	
成果指標	説明	単位	23年度(策定時)	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)	
① 芽室町への観光入込客数	十勝総合振興局まとめ	人/年	204,100	187,400	208,700	208,450	216,700	216,700	
② 芽室町観光物産協会ホームページアクセス数	観光物産協会調査	件/月	3,000	2,500	2,400	3,800	4,000	4,000	
③ 新嵐山スカイパーク利用者数	商工観光課調べ	人/年	506,400	500,500	416,800	505,000	510,000	518,000	
成果指標設定の考え方	①観光の振興するための目安となる成果指標に設定 ②観光のPRを図るうえで必要な成果指標に設定 ③本町最大の観光地である新嵐山スカイパークを振興するため成果指標に設定								

2. 施策の事業費

	26年度決算	27年度決算
施策事業費(千円)	100,835	80,068
人工数(業務量)	2,0250	1,7686

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成27年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①は「愛菜屋」の来客数が伸びたことが主な要因である。②は減少しているが、芽室町観光物産協会として、本町の物産のPR、物販を積極的に推進している。③の新嵐山スカイパークの利用者数は減少しているが、観光拠点としての役割をはたしている。
②平成30年度の目標値達成見込み	<input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	ふるさと納税をきっかけとして本町特産品を発信する新たな事業展開を推進していく。関係団体と連携したオール十勝での取組みで、観光振興を図る。新嵐山スカイパークの利用促進の取組みとして、障害者雇用による関係機関の視察の受入、特別支援学校の修学旅行の誘致を推進する。
(2) 施策の成果評価に対する平成27年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	芽室町観光物産協会運営支援事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	新嵐山スカイパーク運営支援事業
③事務事業全体の振り返り(総括)	芽室町観光物産協会は、農産物や加工品の物販を積極的に推進し、本町のPRに寄与している。新嵐山スカイパークは、冬期間の雪不足等により、スキー客を中心に利用者が大幅に減少したが、要因として天候に左右されたものであり、観光拠点としての役割は果たしたと考える。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

	A	B	C	D	E
進捗結果			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	道東道の釧路延伸・訪日外国人の増加により、十勝への観光客増加傾向にある。既存の十勝観光連盟・道東道十勝連携協議会のほか、十勝の豊富なアウトドア観光資源を活用する「十勝アウトドアDMO」の設立・十勝に各種ある食と農の取組みをひとつにまとめ発信する「食と農の景勝地」認定を目指す協議会の設立により、オール十勝での観光発信の取組みが進んでいる。
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	新嵐山スカイパークの今後の方向性 国民宿舎新嵐山荘の老朽化

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)

観光物産協会は、ふるさと納税をきっかけに、本町とつながりを持った方に対して、魅力ある特産品等の発信による新たな事業展開につなげていく取組みを支援する。また、道東道の延伸により、本町の観光資源をはじめ農畜産物やその加工品などの地域資源を活用し、誘客と経済誘因を図ります。また、十勝観光連盟・道東道十勝連携協議会と連携し、オール十勝での道東道の活用並びに観光の振興を推進する。
新嵐山スカイパークは、施設の老朽化が大きな課題であるが、適切な施設管理を進め、また利用促進の取組みとして、障害者雇用・特別支援学校の教育旅行誘致を推進していく。

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	観光物産協会の支援を通して魅力ある特産品等により農業を核とした農業連携による観光・物産振興をしており、施策として前進していると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	十勝での取組みに参画しつつ、地域資源を活かした観光振興をしてほしい。	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	ふるさと納税をきっかけにした芽室町の特産品の発信が順調であり、施策として前進していると評価する。		A	B	C	D	E
		進捗結果			○		
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税において、芽室町の特徴を出す返礼品、芽室町に来てもらえる仕掛けのある返礼品を検討してほしい。 ・芽室町の物産品をきっかけに、芽室と繋がりを継続してもらえるようにしてほしい。 ・嵐山については、法人と十分連携を図りながら、町民の使いやすさを確保してほしい。 ・新嵐山スカイパークについては新規事業よりも、体制の立て直しが急務である。 ・観光客誘致について、雪や畑が観光資源となりうる。町が積極的に台湾等に働き掛けてほしい。 	A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した					